

人間発達学部
UENAKA Yoshiko
PROFILE
職名
人間発達学部 児童教育学科教授
学歴
京都大学大学院人間・環境学 研究科共生人間学専攻博士後期課程研究指導認定退学 (2007)
学位
修士（教育学）(京都大学、 2004)
所属学会
美術教育を進める会、美術科教育学会、教育科学研究会「美的能力と教育」部会、フレネ教育法研究会、日本美術教育学会、日本教育方法学会、日本教育学会、関西教育学会
専門分野
表現教育学、美術教育学

上中 良子

うえなか よしこ

研究課題1●人間形成と表現教育

研究課題2●表現と関係発達

研究課題3●美術教育と真正学力

業績

【著書】

『授業と子ども 小学三年』／労働旬報社、1985年4月、共著。

『学級担任の図工』／「中身の値打ちを追求する高学年」、開隆堂出版、1986年7月、共著。

『教育の現場から 先生からお母さんへ』／「早期教育 行き届いて一小さな大人」、あずみの書房、1988年8月、共著。

『芸術と平和』／「生命に触れて感動する子どもたち」、桐書房、1990年4月、共著。

『小学生の美術教育』／「高学年の美術教育—本物をみんなで探ろう」、あゆみ出版、1991年3月、編共著。

『子どもが生きる道德教育』／「値打ちを見つめて自分を見つめて」、大阪教育文化センター、1994年10月、共著。

『図工科ヒット教材集』／「絵に表す・ものを作る」、明治図書、1995年11月、共著。

『創って育てる子どもの造形Vol.5—総合的な学習に生かす美術教育』／「絵綴り方の持つ—総合的学習と美術教育」、明治図書、1999年1月、共著。

『総合学習に生かす美術教育1「絵綴り方」を生かした学級づくり—小学校低学年』／明治図書、1999年5月、単著。

『総合学習に生かす美術教育2「絵綴り方・綴り方」を生かした学級づくり—小学校中・高学年』／明治図書、1999年5月、単著。

『創って育てる子どもの造形Vol.6—図工科の授業をおもしろくするアイデア68』／「自分は苦手でも楽しい図画工作の授業！」「子どもが主役！図工・美術の授業」、明治図書、1999年9月、共著。

『表現を生かした総合学習の展開』／明治図書、2000年8月、共編著。

「子供の表現—言語と絵画—」／『美術教育概論（改訂版）』日本文教出版、2009年3月、共著。

【学術論文】

「お蚕さんと共に育つ二年生の子どもたち」／『大阪教育新潮』No.113、1987年4月、単著。

「主権者として“生きる力”を子どもたちに！」／『アート・エデュケーション』No.13、1992年1月、共著。

「美術教育における“子どもの主体的表現”に関する研究（Ⅱ）」／『美作女子大学・美作女子大学短期大学部研究紀要』No.25・No.37、1992年10月、共著。

「主人公は、ぼくたち、私たち」／『未来を開く教育』No.93、1993年7月、単著。

「ヒヨコとともに育つ」／『交野市教育論文』、1993年9月、単著。

「絵綴り方・綴り方表現活動における学童期の子どもたち（その1）」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第32号、1997年12月、単著。

「“綴る力”は、生きる力！」／『大阪薫英女子短期大学・児童教育学科 研究誌』第

4号、1998年7月、単著。

「“自己表現”と“絵綴り方”と小学生—とりわけ低学年における教育課題として」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第33号、1998年12月、単著。

「『総合学習』に関わる考察」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第34号、1999年12月、単著。

「今、こどもたちに自己肯定感を—表現を通して—」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第35号、2000年12月、単著。

「“不登校”に見る現代 教育問題への一考察—自己表現活動に教育方法課題を探る—」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第36号、2001年12月、単著。

「子どもは、表現で心を拓く」／『フレネ教育』No.67、2002年8月、単著。

「短期大学生の自己表現保障の試み—絵綴り方活動を通して—」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第37号、2002年12月、単著。

「昭和初期『想画』から学ぶもの—美術教育のルーツを求めて」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第38号、2003年12月、単著。

「昭和初期三大『想画』の検討—綴り方教育との関係を中心にして—」／『京都大学大学院教育学研究科』（修士論文）、2004年3月、単著。

「昭和初期教育の二つの流れと三大『想画』」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第39号、2004年12月、単著。

「昭和初期三大『想画』の検討—綴り方教育の関係を中心にして—」／『日本美術教育学会誌』288号、2005年3月、単著。

「『綴方』活動における内面性と関係性の育ち—表現教育としての綴方、もう一つの分析視角—」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第40号、2005年12月、単著。

「美術表現における『学力』と美術教育の課題の考察」／『大阪薫英女子短期大学研究紀要』第41号、2006年12月、単著。

「美術表現における『学力』考察—“表現力”を身につけるとは—」／『京都橘大学研究紀要』第34号、2008年1月、単著。

「自ら噴出する力と内在する法則にもとづく描画表現の重要性—W・プレツィンゲルの発達論を通して—」／『日本美術教育学会会報』No.126、2009年10月。

【国内学会発表】

「絵綴り方表現の重要性」／美術科教育学会第21回大会、大阪教育大学、1999年3月、単独。

「短期大学生の自己表現保障の試みと考察—絵綴り方・写真綴り方を通して」／美術科教育学会第24回大会、鳴門・大塚国際美術館、2002年3月、単独。

「『絵綴り方表現のルーツを探る』—昭和初期『想画』の考察を通して—」／第52回 日本美術教育学会学術研究大会、倉敷・大原美術館、2003年8月、単独。

「『確かな力』と『確かな居場所』の関係についての考察—美術表現における『学力』検討を通して—」／第54回日本美術教育学会学術研究大会、奈良県文化会館、2005年8月、単独。

「美術表現における『学力』考察—“表現力”を身につけるとは？—」／第56回日本美術教育学会学術研究大会、東京・青山学院大学、2007年8月、単独。

「美術表現における学力についての考察」／日本教育方法学会第43回、京都大学、2007年9月、単独。

【その他】

『教育実践事典』／「図画工作・美術科教育」「小学校高学年の図工—真実を求める平和学習に位置づいた美術表現—」、労働旬報社、1982年10月、共著。

「やっぱりすごい！子どもの内には“育ちたいエネルギー”が、いっぱい！」／『子どもと美術』No.18、1989年1月、単著。

「他のだれでもない、子どもたちが主人公！」／『子どもと美術』No.35、1994年7月、単著。

「みんなの中で、自分が好きになれる！」／『子どもと美術』No.41、1997年7月、単著。

「図画工作って心の整理の場」／『子どもと美術』No.45、1999年6月、単著。